

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民福祉部 福祉課	
会議名 (審議会等名)	第2回嬉野市指定管理者選定委員会 (市民福祉部)			
開催日時	令和5年10月11日 (月) 14時00分～16時20分			
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1会議室			
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人	
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由	選定過程については、発言者が明確となり発言に制限がかかる恐れがある、自由な発言の機会を担保するために傍聴不可とする。			
出席者	委員	早瀬 宏範 委員長 香田 美代子 委員 向井 良久 委員 永江 松吾 委員 小池 和彦 委員		
	事務局	市民福祉部 福祉課 課長 山口 貴行 副課長 志田 文彦、富永 里江		
	その他			
会議の議題	別紙のとおり			
配布資料	審査選定基準表 指定管理候補者選定協議報告書 (案)			
審議等の内容	別紙のとおり			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民福祉部 福祉課
議 題	指定管理候補者ヒアリングについて		
内 容	<p>嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯つくらーと」の指定管理者候補者として申請団体①社会福祉法人嬉野町社会事業助成会、嬉野市嬉野老人福祉センター指定管理候補者として申請団体②社会福祉法人嬉野市社会福祉協議会より申請があり、その団体へのヒアリングを行い、審査基準を基に審査を行った。</p>		
審議経過	事務局	各申請者よりプレゼンテーションを行って頂く時間として、15分を予定していたが、申請者より15分では短いので20分にして欲しいという要望があった。事務局で協議し、20分とする予定であるが、良いか。	
	委員	(委員全員) 良い。	
	事務局	前回の委員会の確認であるが、平均点の考え方として、上下をカットするという考え方もあったが、今回は単純平均としたい。また、適格条項では△をなくし、○か×のみとする。×があれば失格となるので慎重に採点をお願いしたい。	
	委員	配点が、7→良い、10→大変良い、となっているが、8、9は選べないのか。	
	事務局	前回の協議で、合計点で判断と決まったので差し支えない。あくまで目安と考えて欲しい。	
	事務局	嬉野市指定管理選定委員会規則第6条により、委員会の審議内容、選定結果を書面により市長に報告するとなっているが差し支えないか。後日委員にも送付する。	
	委員	(委員全員) 良い。	
	委員	適格条項で1人でも×がいると失格とこの前の協議で決定したが、その時点で失格となるのか。	
	委員	委員が5人委嘱をされている。1人でも×をつけた場合は残りの4人の判断となる。5人の判断でということを考えれば1人でも失格となる認識なのかと。	
	委員	申請団体が各1箇所なので、1人が×をつけても、そこは慎重に協議すべきではないか。現実的には厳しいので、協議が必要ではないか。調整を行うのが現実的だと考える。	
委員長	それでよいか		

委員	(委員全員) 良い。
委員長	合否結果はいつ応募者に伝えるのか、またホームページで公表は行うか。その場合委員の氏名が出るのか。
事務局	市のホームページへ掲載するが、協議内容の委員の氏名は公表しない。合格通知は本日結果が出次第なるべく早くと考えている。
委員長	今日のプレゼンでは新たに資料を配るのか。
事務局	1件配りたいと聞いている。
委員長	資料は回収するのか。
事務局	回収させていただく。
事務局	<p>嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯っくらーと」の指定管理候補者として申請されている社会福祉法人嬉野町社会事業助成会様よりプレゼンテーションを20分行っていただき、その後ヒアリングを15分行いたいと思います。当初プレゼンテーション15分の予定でしたが、よろしくお願ひします。</p> <p>社会福祉法人嬉野町社会事業助成会よりこれまでの実績や事業運営状況について説明。</p> <p>【ヒアリング】</p>
委員	<p>委託料876万円を市でみれば、先ほど説明であったアップ分を賄えるということか。決算を毎年出していただけるか。湯っくらーとだけの収支は赤字になってないか。</p> <p>また、アンケートは何回行ったのか、公表はしているか。</p>
申請団体①	(アップ分について)そうです。また、決算は毎年提出している。アンケートは年に1回、結果は公表している。湯っくらーとだけの収支はゼロです。
委員	<p>本部経費の配布と配布基準が見えない。単年度で実質この収支で賄えているのか、赤字ではないのか。</p> <p>組織内での役割、例えば経理や総務それぞれの職員さんの負担そのものが見えにくい。もうひとつは職員の質の向上については何か取り組みをされているか。例えば具体的に目指す資格など。</p>
申請団体①	<p>社会福祉法人が行う公益事業の収入を社会福祉事業に充てるのが本来ではあるが、おっしゃるようになかなか難しい状況。</p> <p>事務の職員といっても様々な仕事をしている。</p> <p>(職員の質の向上に関しては、)研修を開催している。感染対策、事故防止、身体拘束、高齢者虐待研修年2回以上行っている。また、介</p>

		<p>護福祉士やケアマネージャー等の資格取得の年間目標を掲げて支援を行っている。</p>
委員		<p>熱意を持って頂くため、グレードアップのための取り組みとしてはどのようなことをされているのか。</p>
申請団体①		<p>法人全体での取り組みとしては、目標管理シートがあります。年度初めに目標設定を行い年度末にその目標を達成できたかどうか、そのようなことを人事評価の取り組みとして行っている。</p>
委員		<p>コロナの中で苦勞をされたかと思うが、コロナ収束後にどのような事業展開を考えているか。</p>
申請団体①		<p>高齢者の場合は感染すると重度化が予想されるため、囑託の医師とも相談の上、第一に感染を広げたらいけないことを重視している。抗原検査キットも大量に購入するが、ひとつ3千円～4千円かかるものを人数分揃えるには5百万ほどかかる。それも施設（経費）でみないといけない。そして検査するのも職員で実施しないといけない。疲弊してしまう。感染者も病院で見てくれるわけではないので、施設で看ないといけない、それで職員もとられてしまう。残業も100時間を越えてしまう現状。世の中は変わりつつあるが、実態はあまり変わっていない。3～4年前はレクリエーションで買い物に行ったり、紅葉などの景色をみて季節を感じてもらったりしていた。早くそのような活動を復活させたいと考えている。ただ、今も面会はガラス越しという状態。変わらないのが一番つらい。早く前の状態に戻したい。</p>
委員		<p>5人の職員はゆっくらーと以外の異動はあるか。</p>
申請団体①		<p>数年ごとに入れ替えをしている。ただ、パートさんで長く勤務している方はいる。今介護労働者の確保が非常に難しい。更に処遇改善や資格をもっている、経験が長いといった色々な付加価値がついて人件費も上がっている。その範囲の中で割り振りをしないといけない。</p>
委員		<p>若い方が長く働いてくださるための取り組みをされていますか。</p>
申請団体①		<p>Wi-Fi等職場環境を整えたり、食事は置き配のようなものを用意したりと、福利厚生にも力を入れています。それもあるのか、職員の高齢化が進んで、60歳以上が多い。定年過ぎても70歳まで働く方もいるし、ヘルパーでは77歳～80歳の方もいらっしゃった。介護は本当に大変な業務なので、若い人が続けられるような工夫をしていきたい。</p>
委員		<p>防災面で、年2回の訓練に取り組まれているが、これは職員のみか。</p>
申請団体①		<p>施設が災害危険区域に指定されているため、平行移動の訓練を施設全体で行っている。</p>
		<p>ヒアリング終了</p>
事務局		<p>続きまして嬉野市嬉野老人福祉センターに申請されています社会福</p>

	<p>申請団体①</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p> <p>委員</p>	<p>社法人嬉野市社会福祉協議会様よりプレゼンテーションを20分行っていただき、その後ヒアリングを15分行ってほしいと思います。</p> <p>社会福祉法人嬉野市社会福祉協議会よりこれまでの実績や事業運営状況について説明。</p> <p>【ヒアリング】</p> <p>社会福祉法人嬉野市社会福祉協議会よりこれまでの実績や事業運営状況について説明。</p> <p>まず予算について、委託職員2名分の予算が変わっていない。最低賃金が6%上がったことは加味しなくて良いのか。</p> <p>最低賃金の900円はクリアしている。専門職を雇っており、健康上の相談も看護師の方が日々受けて頂いているので今後いくらか委託料が上がれば良いと考えている。</p> <p>消防訓練は年間で何回行っているか。</p> <p>年に2回行っている。</p> <p>ミーティングの内容は。</p> <p>毎週月曜日にセンターの看護師や運転手からの利用者さんについての体調や行動についての話を受けて見守りの強化を行いたいという内容であったり、よっぽどのときは包括へ繋ぐなどしています。また、社協の業務的な内容も共有しています。</p> <p>塩田地区からバスで来られているのは何団体くらいになるか。</p> <p>塩田地区の方が10名目安で希望をされた時には自主事業でバスを出している。頻度は月に2回くらい。団体だけではなく、個人で申し込むことができる。車が不足することもある。</p> <p>駐車場は不足することはないか。</p> <p>老人クラブの理事会や2階で健診があるときは職員の車を詰めているが、10台くらい不足するのではないかと思う。普段は問題ない。</p> <p>指定管理になったことで取り組んだ自主事業は。</p> <p>塩田地区利用促進事業、100歳体操、嬉野高校との交流年に6回程度。</p> <p>今後の展望は。</p> <p>今実施している事業を1つ1つ拡充していくこと。ボランティアの主催で行っているふれあいカフェを認知症カフェへ幅を広げていくことなど。現在、色々な団体の方に協力して頂いており、友朋会から月に1回健康教室、アルナ薬局からお薬の相談会、若い世代との交流として高校生や実習生の受入れを行っており、コミュニケーションの機会となっている。</p> <p>救急車を呼ぶような大きな事故があるか。</p>
--	---	---

	<p>申請団体②</p> <p>委員</p> <p>申請団体②</p>	<p>年に数回、お風呂に長く入りすぎたことで具合が悪くなり、嬉野医療センターへ搬送される方がいる。そのような場合の対応も予め決めている。搬送時に家族に連絡を入れるなどして重篤となったケースはない。</p> <p>人件費 2 名分はこの金額で賄えるのか。他の職員分は。一部を切り取ったような印象を受ける。この規模の収入で賄うことができるのか。</p> <p>他の職員に関しては別に社会福祉協議会分として市より補助金を頂いている。この事業の職員は会計年度とすると賞与分が必要となるので委託職員として月額給与としているが、専門職を雇用している為、1 名分くらいの人件費は要望していきたい。</p> <p>ヒアリング終了</p>
<p>その他</p>		